

みえ、葦三百有六旬有六日、以閏月定四時成歲と典、いひ、一歲之中有四時、一時之中有三長、天之節也と繁露、いひ、禮記には天有四時、春秋、冬、夏と孔居、いへるなど、もつとも證とすべし○中抑四時、は春夏、秋冬なり、四時の始を春といひ、二を夏といひ、三を秋といひ、四を冬といふ、春は天地開辟之端なり、春は生じ、夏は長じ、秋は收り、冬は藏す、此天地之大經也、春道生萬物榮、夏道長萬物成、秋道歛萬物盈、冬道藏萬物靜、夫春之爲言蠢也、萬物蠢然而生也、夏假也、寬假萬物使生長也、秋繪也、繪迫萬物使時成也、冬終也、物終成也、まことに四時の徳大なる哉、至れる哉、夫生物者、春なり、吐華者は夏なり、布葉者は秋なり、收成者は冬なり、春夏、秋冬之序、皆以斗柄所指定之、斗柄指東曰春、指南曰夏、指西曰秋、指北曰冬鶴冠、春夏、秋冬、各三月而爲一時、一時各三月あり、三月各孟仲季あり、春夏、秋冬、合せて一年をなせり、一年の月數、十二月あり、十二月の日數、三百六十餘日あり、三月の日數、九十餘日あり、是九十餘日は三月にして、三月は則一季一時にして、春三月あり、夏三月あり、秋三月あり、冬三月あり、偕春三月の始を初春和名類聚鈔、いふ、正月なり、次を仲春といふ、二月なり、次を暮春といふ、三月なり同上、夏の首めを首夏といふ、四月なり、次を仲夏といふ、五月なり、次を季夏といふ、六月なり同上、秋の初を初秋といふ、七月なり、次を仲秋といふ、八月なり、次を季秋といふ、九月なり同上、冬の孟めを孟冬といふ、十月なり、次を仲冬といふ、十一月なり、次を季冬といふ、十二月なり同上、皆孟仲季をもて次第し、各三月にして一季なる、則一時終るなり、十二月にして四季盡ぬ、則四時終るなり、此四時一周して成歲といへり、

【令義解十】凡流移人太政官量配謂量罪輕重配其符至季別一遣、謂太政官錄配流狀、若符在季末至者、聽與後季人同遣謂季末者、四季之末月、假有符三、

【唐律疏議三十】疏議曰、徒流應送配所略、中其流人、準令、季別一遣、若符在季末三十日內、至者聽與後季人同遣、